

令和7年5月15日 15:00現在

保健医療局 保健所 感染症対策課 担当 是松、古賀 電話 791-7081 内線199-133

腸チフス患者の発生について

令和7年5月15日、福岡市保健所管内において腸チフス患者の発生がありましたのでお知らせします。

1 患者概要

年齢	性別	症状	海外渡航歴	発病日
20代	男	発熱、下痢、血便、体動困難、意識障害	有	4月23日

2 経過

4月23日（水） 発熱が出現。

5月 5日（月） 体動困難、意識障害が出現し、医療機関Aを受診。医療機関Bへ転院。

5月14日（水） 医療機関Bによる検査の結果、チフス菌が検出され、腸チフスと診断された。

3 行政の対応

保健所において患者等への健康調査及び感染拡大防止の指導を実施。

4 原因

調査中（東南アジア滞在歴有）

※腸チフス患者・感染者の福岡市への届出状況(令和7年5月15日現時点)

年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
件数	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1

※本件を含む。

【特記事項】

患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内での報道をお願いします。
本件に関するお問合せは、開庁時間内をお願いします。

腸チフスについて

(1)定義

チフス菌の感染による全身性感染症です。

(2)臨床的特徴

潜伏期間は3～60日と幅がありますが、典型的には7～14日です。

発熱・頭痛・食欲不振、全身倦怠感などの症状を呈します。

細菌に汚染された水・食物、患者の便・尿などから経口的に感染します。

※腸チフスは、世界中でみられる感染症ですが、特に南アジア、東南アジアでの罹患率は高く、また、中南米、アフリカなどでもみられます。これらの地域では、生もの、生水、氷などを飲食しないよう注意してください。

※感染症の予防には手洗いの励行が大切です。

帰宅時、食事前、トイレの後などは、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。